

2019年度 日本木材学会中部支部大会（愛知）概要
2019年10月3～4日 ポートメッセ名古屋

スケジュール

1日目午後

口頭発表 13 件， 展示発表 15 件， 懇親会

2日目午前

自由見学

2日目午後

後援行事 第 408 回生存圏シンポジウム「森林資源の有効利用を目指す多角的研究の現状（男女共同参画との連携）」

参加者

参加者 68 名（うち学生 24 名）

懇親会参加者 31 名（うち学生 13 名）

懇親会@ワイン食堂ウノ 名駅 4 丁目店

司会 松下泰幸先生（名古屋大学）

挨拶 光永 徹先生（支部長，岐阜大学）

来賓 土川 寛先生（木材学会副会長，名古屋大学）

乾杯 福島和彦先生（木材学会前会長，名古屋大学）

地域功労賞および優秀発表賞（展示 2 名，口頭 2 名）の表彰（光永支部長より）

中締め 野中 寛先生（次期大会開催地，三重大学）

表彰

地域功労賞

野々田 稔郎 氏

地域林業・林産業の活性化に向けた研究開発とその普及活動

所属機関：三重県林業研究所 所長（兼 みえ森林・林業アカデミー副学長）

優秀発表賞

口頭発表

湿熱回復による木材の寸法変化メカニズム～DMSO 膨潤および乾燥収縮との関係～

（名大院生命農）○陳碩也、松尾美幸、吉田正人、山本浩之

モノリグノールの脱水素重合に及ぼす有機溶媒の効果

(富山県大工) ○山下綾菜、岸本崇生、濱田昌弘、中島範行、占部大介

展示発表

近赤外分光イメージング法を用いた乾燥過程における木材内部の水分移動機構の研究

(名大院生命農) ○森田弦喜、馬特、土川覚、稲垣哲也

鋳込み成形法によるセルロースナノファイバーの三次元成形

(三重大生物資源) ○村瀬遥香、(三重大院生物資源) 野中寛

後援行事 第408回生存圏シンポジウム「森林資源の有効利用を目指す多角的 研究の現状（男女共同参画との連携）」

講演題目および講演者

- ・改質リグニンを用いた耐熱シート材および繊維強化複合材の開発
産業技術総合研究所 蛭名武雄氏
- ・樹木の重量ストレス応答から知る細胞の機能
森林総合研究所 相蘇春菜氏
- ・国産早生樹の建材用途への利用
パナソニック（株）R&Dセンター 波多江英美子氏
- ・植林地の効率的な管理を目指したマイクロ波衛星画像による下層植生密度の推定
玉川大学農学部 小林祥子氏
- ・木質バイオマス返還に貢献するマイクロ波加熱技術
京大大学生存圏 三谷友彦氏
- ・樹木の水分通洞はどのように維持されているのか～定説の矛盾点から考える～
神戸大学農学部 黒田慶子氏

展示発表会場と懇親会の様子

